

- 鶴田ダムは、昭和41年4月の管理開始から今年で50周年を迎え、10月2日（日）に『鶴田ダム再開発事業治水効果発現・鶴田ダム管理開始50周年の記念式典』を開催しました。
- 参加者は200名を超え、地元の園児による太鼓演奏や記念放流、くす玉開披が式典に華を添えました。
- 現在進めている鶴田ダム再開発事業は、平成18年7月に発生した豪雨災害を契機に、ダムの洪水調節容量を約1.3倍の9,800万m³に増強する事業で、増設する3門の放流設備が平成27年度末に完成し、今年6月の出水期より新たな洪水調節容量による治水効果を発現しております。
- 今後も鶴田ダムが地域の皆様方の期待に応えられるように、関係者一丸となって管理運用に取り組んでいきます。



「くす玉開披」状況



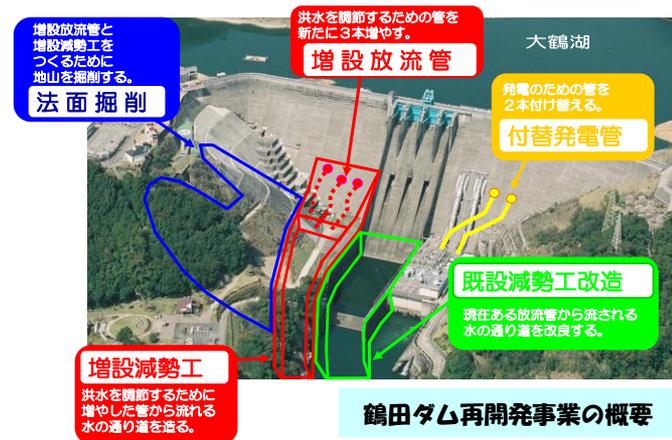
地元園児による太鼓踊り



「記念放流操作」状況



式典会場 状況



再開発工事現況写真（H28.7月時点）